

## 現状と課題

- ◆ 震災によるJR常磐線や路線バスの休止。
- ◆ 避難指示解除後の地域公共交通の確保。
- ◆ 復興拠点を面的に結び、住民ニーズに合致した公共交通のルート策定とサービス提供体制の構築。

## 取組・方向性

- ◆ 避難指示解除や復興拠点等の整備状況、帰還人口の見通し等を踏まえた時間軸に沿った地域公共交通体系の段階的構築。
- ◆ 上記に必要な計画の策定を見据え、国・県・市町村・利用者等による検討体制を早期に立ち上げる。

## 取組のイメージ

### ○平成27年度

- ・将来の交通網計画を見据えつつ、地域公共交通ネットワーク構築のための検討体制の立ち上げに向けた準備会合を年度内に2回程度開催。
  - ・準備会合メンバー構成(国、県、市町村、公共交通事業者など)
- <準備会合の目的> 情報の収集・整理に努め、国交省などの協力を得ながら検討を深める。
- ・検討体制の立ち上げに向けての準備を進める。

【第1回会合】震災前の交通実態・人口分布・施設分布等の整理、現況の交通実態(運行状況、利用状況)

の整理、復興まちづくりの動向(施設分布、土地利用計画)、復興まちづくりのフェーズ整理

【第2回会合】復興まちづくりのフェーズ等に合わせた交通ネットワークのあり方(シナリオ)検討、地域公共

交通(バス等)の特徴的な取組事例整理、次年度以降の調査検討の進め方

### ○平成28年度

- ・地域公共交通ネットワーク構築のための検討体制を立ち上げる。
- ・検討体制メンバー構成(国、県、市町村、学識経験者、公共交通事業者、利用者・住民など)

<当面の検討テーマ> 短期～長期の各時点における交通ネットワークの具体化(交通ネットワークで結ぶ拠点設定、サービス方法(システム)、運行頻度、ルート等)、関連主体・交通事業者の意向把握、事業スキーム・役割分担の検討、概略需要推計、概算事業費と費用負担等



参考：地域公共交通再編イメージ(国土交通省)